



## 2026年も、ともに頑張りましょう!

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

1月3日、米国・トランプ政権によるベネズエラへの軍事攻撃が行われました。いかなる理由があろうとも、一方的な攻撃や身柄の拘束は決して許されません。ロシア軍によるウクライナ軍事侵攻等をはじめとして、軍事力にものを言わせる大国主義に拍車がかかっている深刻で不安定な国際情勢です。「力の支配」がまかり通る世界には、断固反対です。平和憲法を掲げる日本は、軍備増強・戦争ができる国づくりの道をすすむのではなく、今こそ即時停戦を求め国際社会と連携していかなければなりません。

教職員の未配置問題が叫ばれて数年が経過しましたが、解消するための具体は見えないままです。また、精神疾患による休職者数が高止まりの現状となっています。一刻も早く長時間労働を是正し、時間的にも精神的にも余裕をもって働ける職場にしていける必要があります。また、子どもたちにとって学校が苦しくなっている現状からも、学習内容の精選と総授業時数の削減をセットで行い、カリキュラム・オーバーロードを解消しなければなりません。

湘南教組は、「平和で安心して過ごせる社会」「安心して働き続けられる学校」「子どもたちが安心して過ごせる学校」の実現をめざし、とりくみを強化していきます。組合運動の土台は、組合員の数。運動を大きくするために、引き続き、みなさんと一緒に組合加入をすすめていきたいと考えています。

2026年も、ともに頑張りましょう。

執行委員長 鬼塚 健自

## 2026年度 文科省予算案

2026年度文部科学関係予算案は前年度よりも6.8%増となる、5兆8,809億円となりました。主なものとしては、次の通りです。

○中学校35人学級や養護教諭の配置充実、学校事務体制の機能強化等	1兆7,000億円
○学校における働き方改革の推進のための支援スタッフ等の充実	99億円
○教師人材の確保強化	5億円
○地域クラブ活動への移行に向けた実証事業	57億円

『新たな「定数改善計画」』として義務標準法を改正する事項が盛り込まれていることは評価できます。しかし、改善は同法の改正に伴う定数増（中学校35人学級、養護教諭の配置充実、学校事務体制の機能強化）6,556人、加配定数（生徒指導体制の充実、小学校教科担任制、学校総合支援）1,690人となっており、文科省要求から大幅に減じられています。小学校における教科担任制は、第4学年分の拡大と新規採用教員の持ち授業時数軽減として990人となっていますが、全国すべての学校が実感するにはほど遠いものです。

処遇改善については、教職調整額を2026年1月～5%（2027年1月～6%）にするとしました。また、主務教諭の創設に伴う処遇（月額6,000円）、部活動指導手当の増額が計上されています。

学校の働き方改革加速化に向けた体制構築の支援では、「補習等のための指導員等派遣事業」として、教員業務支援員 29,720 人（+1,620 人）などが計上されています。また、「校内教育支援センター支援員の配置事業」4,000 校（+2,000 校）のほか、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置充実として 88 億円となっています。現場が求める配置とするには、さらなる拡充が必要です。

湘南教組は、処遇改善とともに業務削減、教職員定数改善を求めて、日教組、神教組に結集してとりくみます。

## かながわ教育フェスティバル2025（第75次県教研）

10 月 18 日に、全体会が Web 開催されました。荒木健太郎さん（雲研究者／気象庁研究官）による「空を楽しむ～雲愛から学ぶ防災・減災～」と題した記念講演がありました。

12 月 14 日に神奈川県教育会館、12 月 21 日に横浜国立大学にて、以下の9つの分科会が行われました。

「自治的な活動および異年齢集団による学び」	「多様な子どもを守り、育む学び」
「ゆとりと豊かな学びの創造のための環境整備」	「デジタル教科書・ICT を活用した学び」
「持続可能な社会にむけた学び（インクルーシブな学びにむけて）」	
「持続可能な社会にむけた学び（進路・キャリア教育と環境）」	
「持続可能な社会にむけた学び（子どもの人権と両性の自立と平等）」	
「持続可能な社会にむけた学び（平和教育）」	「地域にねざした学び」

各分会からレポート報告をもとに、協議の柱に沿った議論を行いました。様々な視点から教育に関する考察を深めることができました。

湘南教組からは、

- ・「生徒のこえが創り出す授業・学校を目指して～生徒の主体性を育むために～」
- ・「生徒の意見を取り入れた学校生活ルールの改正」 ・「支援級ができて5年・・・」
- ・「小学生が地域を変える！～茅ヶ崎市ふるさと納税プロジェクト（FNP）～」
- ・「積極的・活発的な自己表現活動につなげる授業づくり」
- ・「学校内における ICT 機器の活用の事例」 ・「平和学習について」
- ・「学校はどこへ行くのか!？」 ・「『学校』を取り巻く状況について考える」
- ・「教科担任制（交換授業）について～取り組んでみてのメリット・デメリット～」



の10本のレポートをもとに報告を行いました。どの分科会も様々な実践報告があり、活発な議論が交わされました。

### 湘南2月教研を開催します

日 時：2月24日（火）16:00～

場 所：湘南教育会館

内 容：学習会（全体会）

講演「『インクルーシブ教育』をめぐる動向と課題」

講師：竹村雅夫さん（藤沢市議会議員）

全国教研報告会（分科会）

・外国語教育、活動 ・総合学習と防災、減災教育 ・カリキュラムづくりと評価



## 【執行部のつぶやき 1】

「大きくなったら先生になりたいんです。」

これは 15 年ほど前、教壇に立ち始めた頃、子どもたちからよく言われた言葉です。忙しい毎日の中でも、この一言をかけられるたびに、「先生になってよかった」と心から思える瞬間でした。



ところが最近、子どもたちからよく聞かれるのは、こんな言葉です。

「先生ってブラックなんでしょ？」

初めて言われたとき、言葉を失いました。思わず笑ってごまかしましたが、心のどこかで「否定しきれない自分」がいることも事実でした。

授業、会議、保護者対応、教材研究、校務分掌。定時退勤は難しく、休日は部活動や行事の準備に追われ、体調を崩しても休みづらい——そんな現実があります。これを「やりがい」や「使命感」だけで支えていいのでしょうか。

若手教員は増えても定着せず、経験ある教員も疲弊、メンタル不調で休職する教員が後を絶たないのも、珍しい話ではありません。現場には確かに声がありますが、多くは「個人のぼやき」で終わってしまいます。制度や職場環境を変える力にならないのは、「つながり」が足りないからです。一昔前までは教職員組合には多くの組合員がいましたが、今では減ってきているところもあるそうです。「組合は古い」「メリットがない」「入らなくても権利は得られる」——そうした声の背景には、情報不足があるのではないかと思います。

組合とは、困ったときに一人で抱え込まず、誰かと一緒に考え、声を代弁し、支え合える場所です。組織があるからこそ、管理職や教育委員会とも対等に交渉でき、制度の歪みに「おかしい」と言えます。一人では変えられないことも、多くの仲間がいれば、自治体や議会を動かす力になります。子どもたちに「先生ってブラックなんでしょ？」と聞かれたとき、私はこう答えたいのです。「そうならないように、大人たちが力を合わせているんだよ」と。

これは自分たちの働き方を守るだけの話ではありません。働く大人の姿を通して、子どもたちに「自分の声を大切にしていんだ」と伝えることでもあります。声を上げることは、迷惑でも、わがままでもありません。小さな輪が広がることで、未来は少しずつ、でも確実に変わっていくのです。

## 【執行部のつぶやき 2】

私は、一人旅が好きです。好きな場所に好きなように行けることに、開放感を感じられます。そして、写真が好きなので、行った先で素敵な瞬間を切り取ろうと歩き回っています。ちなみに、四季を感じる写真を撮るようになると、見える世界観がまた違ってきて面白いですよ。



行った先で出会う方々とおしゃべりする時間は、また違った面白さがあります。自分が知らない世界観を教えてくれたり、時には翌日に案内してくれたり……。そうやって新たな瞬間に出会えると、「人との繋がりがあって、やっぱりありがたいな」と感じます。

一人の時間も、誰かという時間も、どちらも大事だと思います。次の長期休みは、普段とは違った時間を過ごしてみてもいいのでしょうか？

### 【執行部のつぶやき 3】

〈時間は有限〉

わたしは効率よく動くことが好きだ。絶対ではないが、なるべく効率良く動きたい。例えば、ご飯を食べていて、何かを冷蔵庫に取りにいきたくなったときに、何も持たずに動くのはもったいないと思ってしまう。そういうときに頭で考える。「動くからには、机の上にある使わない醤油はしまって、食べ終わってる皿も一枚もって、ついでにキムチもしまいか、..、持ちすぎて冷蔵庫開けられねー！」ってことで扉付近をタップすれば勝手に開く冷蔵庫を購入した。

「全ては効率のために。」

また、子どもの頃やっていたポケモンでは、ずっと手持ちとして長く残るポケモンしか育てない。バタフリーなんてタケシを倒したらバイバイだ。なんでも育てようとする時間がかかる。無駄だ。

「全ては効率のために。」

と、なんだか昔から無駄に効率良くすることにハマっている。(本当に効率良くできているかは知らないが。)そんな自分が執行部になり、効率好きな自分からすると、かなり道ははずれている。自分のためではない業務、スキルアップできているのか、今後この知識は使うのか、と。ここでは効率は語れない。

でも、なんだか素敵な場所だなと思った。みんなが誰かのために必死になってとりくんでいる。しかも、現場にはこの頑張りわからない、わかりづらい。それでも頭突き合わして考える、協議する。ん〜、ちょっと楽しい。この執行部生活もうすぐ2年がたとうとしているが、1周まわって、誰かのために動くことが、結局は自分のためになっているとさえ感じ始めた。

「全ては効率のために？」

わたしの人生を否定されているような気もするが、気分は悪くない。“全てはみんなのために”残りの時間も楽しもう。これを読んでいる人の時間は無駄にはなっていないかな？



### 【湘南教組 今後の予定】

日 程	内 容	開始時刻	場 所	対 象
1月26日(月)	教文委員会	16:00	湘南教育会館	教文委員
2月 2日(月)	茅ヶ崎・寒川地域協議会	16:15	寒川町民センター	分会長
2月 5日(木)	鎌倉地域協議会	16:30	ろうきん大船支店	分会長
	藤沢地域協議会	16:00	湘南教育会館	分会長
2月 7日(土)	神奈川県 母と女性教職員の会	10:30	横浜市教育会館	女性部委員 +希望者
2月13日(金)	湘南教組役員選挙 投票名簿提出、投票用紙配付	19:00 まで	湘南教育会館	分会員
2月24日(火)	2月教研	16:00	湘南教育会館	推進委員 分会1名 +希望者
	湘南教組役員選挙 投票用紙提出	19:00 まで	湘南教育会館	分会員
2月28日(土)	湘南教組役員選挙 開票	10:00	湘南教育会館3F	選挙管理委員
3月 5日(木)	湘南教組 中央委員会	16:15	寒川町民センター	中央委員
5月30日(土)	湘南教組 第71回 定期大会	未定	茅ヶ崎市民文化会 館大ホール	代議員
6月18日(木)	湘南教組 女性部定期大会	未定	茅ヶ崎市民文化会 館小ホール	代議員